

サーチエンジンによる情報検索のコツや便利な方法など

WWW サーチエンジンは、大きく分類するとディレクトリ型(人が分類)とロボット型(機械が分類)の2種類に分けることができる。両者にはそれぞれ長所短所があるので、場合によって使い分けることも必要となる。

1. なるべく具体的で正確な「キーワード」で絞り込む

例： 野球(×) → 大学野球(△) → 東京六大学野球(○)

2. 複数のキーワードを使って検索条件を絞り込む

例： 霧島(×) → 霧島 観光 温泉(○)

3. 検索結果リストからは新しいタブかウィンドウで開く

検索結果リストから、期待していた Web ページであるかをチェックするときは、「右クリック」で「新しいタブで開く」か「新しいウィンドウで開く」をクリックして開いて Web ページをチェックする。検索結果リストは別なウィンドウとして残しておく。

4. 結果が思っているものと違うと感じたときは、同意語を考える

(例)「使用方法」「使用法」「使い方」「利用方法」「テクニック」「ノウハウ」など

5. 質の高いリンク集は見逃さない

質の高い Web ページにリンク集があるときは見逃さない。今後も利用できるようにしておく。

6. Web ページ内で更に検索するときは、Ctrl キー + F キーでキーワード入力を探す

情報量の多い Web ページから該当する項目を探すには、メニュー「編集」→「このページの検索」(Ctrl+F)で探すと便利。

7. URL のカットによる方法

http://www.aaa.com/bbb/ccc/ddd.html というサイトが検索結果にあったとする。そのサイトがなくなっていた場合は、階層毎のサブディレクトリ(サブフォルダ)を一つずつカットしてみるのも一つの方法である。例えば、http://www.aaa.com/bbb/ccc/で表示されなければ、http://www.aaa.com/bbb/に、最後に http://www.aaa.com/。これにより、構成が変わったことを示す何らかの手掛かりを見つけられることがある。

8. キーワードの選択方法

キーワードにおいて、日本語の場合、「鹿児島大学」と入力すれば、それを「句」として認識し検索してくれるが、英語の場合には、「kagoshima university」となり、2語の単語として検索されてしまう。そのため、それらの単語を「句」として認識させるために、引用符でそれらの語を囲む必要がある。(例)"kagoshima university"

9. 検索エンジンを変えてみる

検索結果の上位 10 件ほどを見ても、思うようなページが見つからない場合は、別の検索エンジンを使ってみるのも一つの方法である。

10. よく利用する Web ページは「お気に入り」に追加し、USB メモリ等に保存

よく利用する Web ページは、個人的な利用環境なら「お気に入り」に追加しておく。大学の PC 端末であれば、USB メモリか自分の OneDrive(ネットワークドライブ)にフォルダを設けて保存しておく。